

県政 かわら版

2012

7

No.44

栄町・酒々井町選出
千葉県議会議員



岩井やすのり 42歳

岩井やすのりの県政かわら版 No.44 (2012/7月号)

県外郭団体

仕組債で多額の評価損

債券の一部「投資不適格」

去る7月6日に閉会した6月千葉県議会
の農林水産常任委員会において、県外郭団
体が保有する仕組債が32億5千万円余り
の評価損を抱えている問題について追及し
ました。

仕組債とは文字通り、一般的な債権には
みられない特別な「仕組み」をもつ債権。
スワップやオプションなどのデリバティブ
(金融派生商品)を利用することで、投資
家や発行者のニーズに応える一方、甚大な
損失を被る可能性もあり、「ハイリスク・
ハイリターン」の金融商品であるとも言え
ます。

県による出資金などが25%以上の37
指導対象団体のうち4団体は、計85銘柄
131億3355万円分の仕組債を購入し、
約25%にあたる32億5232万円の評
価損を抱えています。そのうち、農林水産
常任委員会所管の(財)漁業振興基金は計
19債券を有し、平成22年度末現在、取
得価額63億9900万円に対する評価額
は50億6046万円。含み損益は13億
3854万円で、含み損割合は20・9%
にまで上るものとなっています。

また、保有する債券の償還期間は20
〜30年と長いものばかりです。32億円
もの含み損を抱えている現状では、現金化
できるはずもなく、まさに「塩漬け状態」
といえます。漁業振興基金保有19債券の
うち満期の額面保証がされているものはわ
ずかに2債券しかなく、いずれは運用の失
敗として、多額の損失が計上されることに
なりかねません。

塩漬け状態となる危険

問題なのは、購入した債券のうち、
6つが「投資不適格」とされているこ
と。米格付け会社スタンダード&プア
ーズの評価では、県私学教育振興財団
の3債券など6債券が、投資不適格と
されるBB以下の格付けです。

資産運用の基本は第一に安全性

A「投資顧問の問題においても、厚生
年金基金のずさんな運用実態が明るみに
なりましたが、今回の県外郭団体における仕
組債評価損問題でも、わずか1人の運用責
任者と、責任問題がないがしろになりがち
な理事会での方針決定が、問題の背景とし
て指摘されています。

団体が保有する基本財産の多くは、県民
から託された貴重な公金です。資金運用に
は県民への説明責任が果たされなければな
りません。資産運用に係る責任の所在を明
確化し、リスクの高い金融商品への過度な
投資は抑制するべきです。

また、国は公益法人の運用指針の中で、
「資産運用は元本が回収できる可能性が高
い方法で管理する」と定めています。当外
郭団体が持つ社会的役割の公益性からも、
その運用の基本は、第一に安全性、第二に
流動性、第三に収益性であることを認識す
るべきだと思います。

北辺田小・酒直小は安食台小へ

栄東中は栄中へ統合(栄町)

栄町が進めてきた、町内小中学校の
統廃合問題。平成22年から行われて
きた「栄町学校規模適正化検討委員会
(検討委員会)」の答申を受け、栄中学
校と栄東中学校を統合し栄中学校校舎
を使用すること、北辺田小学校、酒直
小学校、安食台小学校を統合し、安食
する「学校適正配置検討案」を示して
きたが、結果的に中学校1校
(栄中)、小学校4校(安食小・安食台
小・竜角寺台小・布鎌小)の計5校を
残す小規模な統廃合にとどめたことに
なります。また、今年3月に発表され
た検討委員会の答申では、北辺田小、
酒直小の統合先は竜角寺台小とされて
いましたが、対象地区住民の意見など
を踏まえ、安食台小へと変更にされた
ことも大きなポイントです。

町内5校存続の小規模統廃合へ

栄町によれば、小中学校に通う生徒
児童数は、平成29年には1173名
と、ピーク時の27%にまで減少する
と推計されています。また、北辺田小

学校の適正配置具体策(栄町教育委員会方針)

	学校名	統合後	統合年度	存続する校舎
小学校	北辺田小学校	1校	平成27年度 (平成27年4月)	安食台小学校 (11学級269人)
	酒直小学校			
	安食台小学校			
中学校	栄中学校	1校	平成27年度 (平成27年4月)	栄中学校 (13学級444人)
	栄東中学校			

スクールバス等、通学の安全確保を

統廃合計画の実施にあたって、対象
地区で説明会を開催すること。一
部地域で、統合によって通学困難とな
る児童、生徒が発生することは避けら
れませんが、小学校はもちろん中学校
においてもスクールバスを導入するこ
とにより、通学時の子どもたちの安全
を確保することは必須だと考えます。

※複式学級…学年ごとではなく、複
数学年で1クラスにする学級編制で、
学校規模が小さい場合に行われます。

急がれる

防災拠点施設の耐震化（酒々井町）

2004年に発生した新潟県中越地震では、一部市町村の庁舎が使用不能となる事態となり、また、2008年の中国四川省における大地震において、多くの学校施設が倒壊し、多数の犠牲者が出たことは未だ記憶に新しいところです。庁舎や学校等、国や地方自治体の公用・公共施設は、不特定多数の利用者が見込まれるほか、地震災害の発生時には防災拠点としての機能を発揮することが求められ、民間施設以上に耐震化等の適切な対応が求められます。

県内の公共施設等耐震化率

全国31位

防災拠点となる公共施設等には、校舎、体育館等の学校施設、庁舎の他、社会福祉施設や消防施設等を含め、全国で17万9000棟余りありますが、そのうち、昭和56年の現行耐震基準を満たしているのは13万5800施設、75・7%にとどまっています。千葉県で基準を満たしているのは7565施設中の5354施設と、耐震化率70・8%は全国31位です。特に、学校施設（校舎・体育館）は、全国平均の79・1%に対し千葉県平均69・4%と、その遅れは深刻なものです。

防災拠点となる公共施設等の耐震化状況（千葉県）

	耐震診断実施済み			耐震診断未実施棟数
	改修の必要がない棟数	H22末までに改修済	改修できていない棟数	
印西市	8	21	6	3
白井市	3	6	6	0
栄 町	0	0	1	0
成田市	26	51	7	0
酒々井町	1	4	2	1
市町村計	956	970	1416	445

平成24年3月31日現在

H23年度末現在で耐震化未対応だった施設（酒々井町）

施設名	対応状況
酒々井町役場	25年度中に耐震化改修予定
中央公民館	24年度中に耐震診断実施予定
体育館	建替えを含め対応を検討中

また、表にあるように、自治体ごとに耐震化が必要な施設数と、耐震化の進捗に格差が生じてきており、住民を守るべき行政としてしっかりとした対応が望まれるところです。

酒々井町役場本庁舎など3棟が

耐震化未対応

酒々井町では、子どもたちが利用する学校施設は全て耐震化されていますが、その他施設では、未耐震化施設が2棟、前提となる耐震診断さえ実施できていない施設が1棟あり、中央公民館、体育館については未だ耐震化の目途が立っていない状況です。（左表）
更なる大規模地震の発生が懸念される折、住民の安全・安心が確保されるよう、いち早い対応を期待します。

北千葉道路
終 点

いには野交差点の改善を要請

開通直後からの渋滞は最高3分

国道464号沿いには、近年、大型商業施設の進出が相次いだため、特に週末には深刻な渋滞が発生するようになっていました。そのため、県とURが、掘削部の北総線に沿って本線部分の4車線を整備し、6車線化工事を進めてきたものです。

しかし、供用を開始した5月25日より、本線を利用する車両が溢れ、特に本線と側道が合流する部分は激しい渋滞。週末の26、27日も解消されることなく、その列は最高で3分にも至ったとのこと。地元警察署などでは、苦情の電話が鳴りやまなかったと聞いています。

県は県警と協議し、①草深ランプを閉鎖し本線流入車両を減らす ②牧の原ランプの導流帯とポストコーンを撤去し、元通りの片側2車線を確保する ③側道のほぼ全てで片側2車線を確保する 等の対策を講じ、6月に入ってから、渋滞が解消されてきています。

草深ランプの再開通はめど立たず

しかし、巨費を投じて建設した草深ランプですが、現状では供用再開となる見込みはありません。平成25年度開通予定の本埜区間（牧の原く印旛日医大）が供用開始となれば、各ランプにおける渋滞は改善される見通しですが、一方で草深ランプ近くには、今年度中にも大型商業施設の新規出店も見込まれており、再開通へのハードルは決して低くないものです。

要望により、まずは横断歩道設置

現地は、いには野小学校や印旛中学校、松虫姫公園があるなど、子どもたちの生活圏となっています。いには野地区は「歩行者に優しい街」をコンセプトに開発されただけに、付近を散歩される市民も少なく、横断歩道さえ整備されないままの開通に、怒りの声さえ聞かれました。

5月25日の開通直後からいただいた、当交差点における信号機と横断歩道の設置要望を受け、道路管理者である千葉県と、千葉県警察に働きかけをしてまいりましたが、6月26日によろやく横断歩道とポストコーンが設置された状態です。

これにより、横断歩道直前にて車両の停止義務が発生するなど、一定の事故防止策になると思われます。

一方、交差点の規模や交通量等を鑑みれば、早期に信号を設置する必要があります。



7/4 現地にて交差点の改善を要請

8/5（日）岩井やすのり県政報告会

栄 町 会 場 日時：8/5（日）10：00～11：00
 場所：栄町ふれあいプラザ1F会議室
酒々井町会場 日時：8/5（日）14：00～15：00
 場所：酒々井町中央公民館 会議室

岩井やすのり 県議会議員事務所

TEL：0476-36-7799 メール：iwai-yasunori@dream.jp
印旛郡栄町安食台2-26-23（栄町役場前パン屋2F）

去る7月4日には、県及び地元警察担当者立ち合いのもと、改めて、次のような改善要望を行いました。

① バイパス下り終点部交差点に信号機を設置し、車両同士、車両対歩行者の事故防止を図ること。

② バイパス道出口付近右側に設置しているガードレールをポストコーンに変更する等により、子どもを中心とする歩行者が視認されにくい現状を改善すること。

当問題への早期対応を求め、関係各所への働きかけを続けてまいります。